

目次

序章	長期構想委員会の概要	2
第1章	港湾及び背後地域の現況	8
第2章	目指すべき方向性	36
第3章	港湾への要請と課題	40
第4章	境港が今後担うべき役割	67
第5章	長期構想における施策の展開方向	74

序 章	長期構想委員会の概要
第1章	港湾及び背後地域の現況
第2章	目指すべき方向性
第3章	港湾への要請と課題
第4章	境港が今後担うべき役割
第5章	境港の長期構想における施策の展開方向

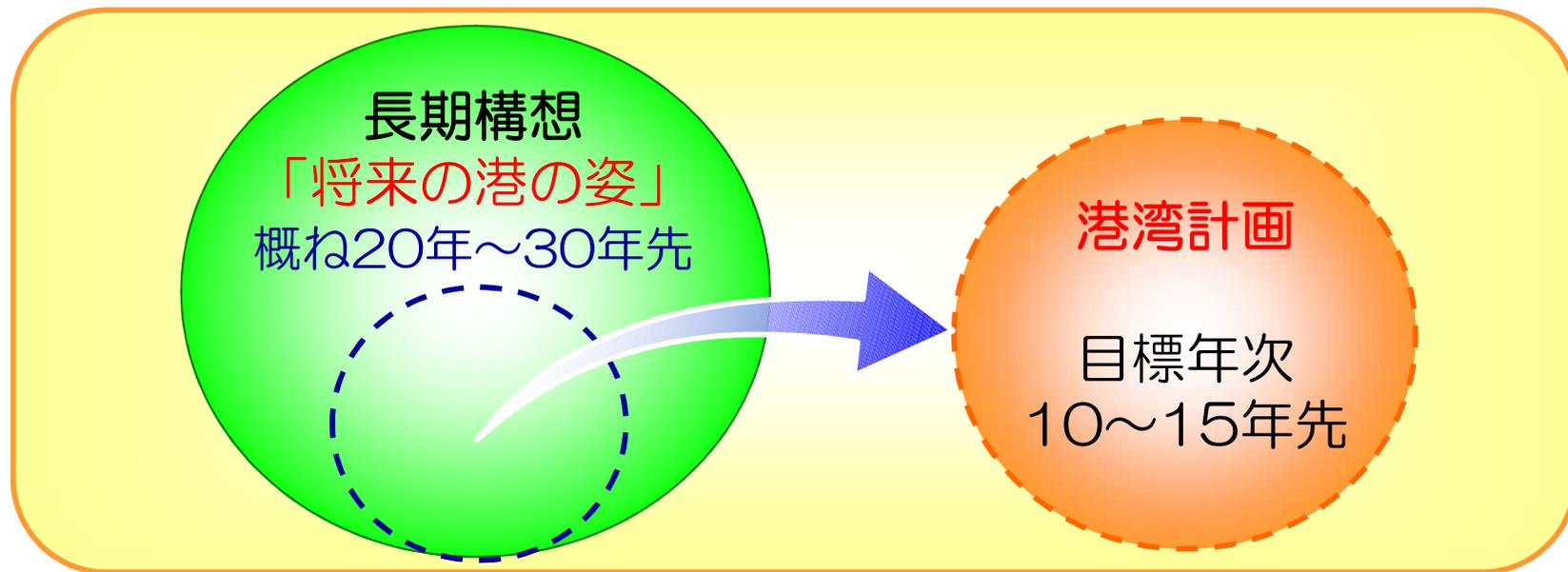
長期構想と港湾計画

■長期構想

- 20年～30年程度先を見通した港の将来像
- 将来目標、長期的な港湾整備の方向性
- 空間利用のゾーニング

■港湾計画

- 10年～15年程度先を目標とした施設整備や土地利用計画



【長期構想と港湾計画のイメージ】

境港における現行の港湾計画

- 平成17年6月 境港港湾計画 改訂
- 平成27年3月 境港港湾計画 一部変更

■目標年次:平成30年代前半

■計画の方針:

- 1) 外内貿物流機能の拡充
- 2) 港湾の高度利用
- 3) 臨港交通体系の強化
- 4) 親水空間の確保
- 5) 旅客船ふ頭の整備
- 6) 生態系との共生にも配慮した港湾利用

【目標年次における港湾の能力】

取扱 貨物量	外貿	260万トン
	内貿 (うちフェリー)	250万トン (うち10万トン)
	合 計	520万トン
入港最大標準船型		6万D/W級
港湾 利用者数	旅客施設利用者	15万人
	マリーナ利用者	5万人

長期構想見直しの背景

境港港湾計画

(平成17年6月 改訂、平成27年3月 一部変更)

改訂から10年以上経過

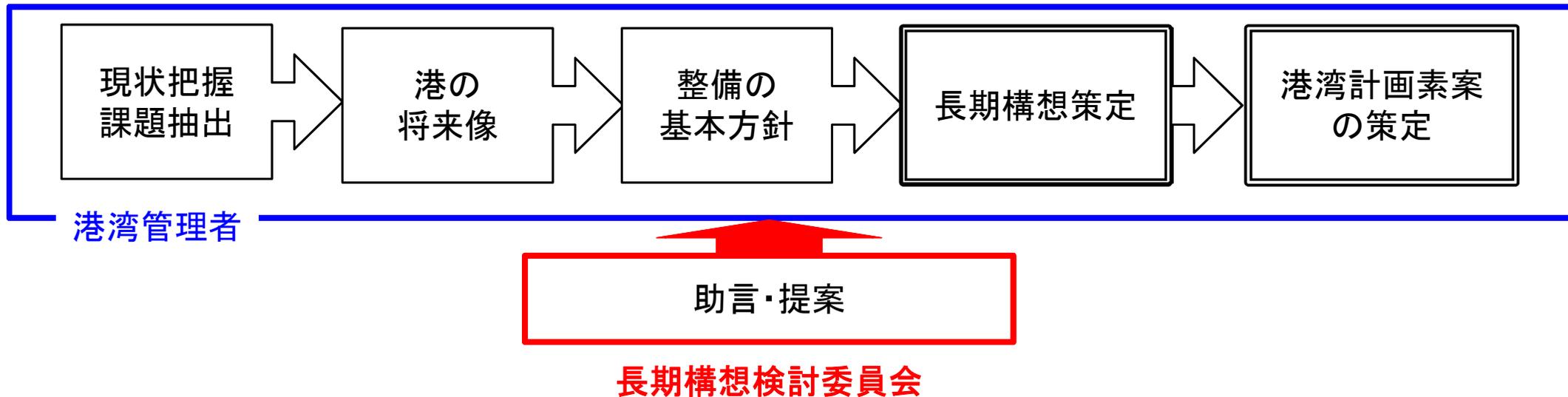
■社会経済情勢等の変化

- ・国際定期フェリーの就航(H21)
- ・リサイクルポートに指定(H23)
- ・日本海側拠点港(国際海上コンテナ、外航クルーズ、原木)に選定(H23)
- ・「みなとオアシス境港」登録(H25)
- ・公共マリーナJOCセーリング競技強化センター認定(H27)
- ・外港竹内南地区複合一貫輸送ターミナル整備着手(H27)
- ・外港中野地区国際物流ターミナル供用開始(H28)
- ・外港竹内南地区複合一貫輸送ターミナル供用(H32)
- ・バイオマス新規建設計画(米子市和田浜工業団地地内)(H33)
- ・大型クルーズ船の寄港増加
- ・輸送船舶の大型化

境港の港湾計画改訂に向けて、長期構想を見直す

長期構想検討委員会の役割及びスケジュール

■役割



■スケジュール

平成30年度	第1回境港長期構想検討委員会 (内容)現況の把握、目指すべき方向性	11月8日
令和元年度	第2回境港長期構想検討委員会 (内容)港湾への要請と課題、境港が今後担うべき役割、境港の長期構想における施策の展開方向(案)、将来の空間利用計画(案)	(幹事会:7月4日) 7月23日
	第3回境港長期構想検討委員会 (内容)境港の長期構想における施策の展開方向、将来の空間利用計画、境港長期構想(案)、境港港湾計画素案	(幹事会:11月29日) 12月19日
	長期構想の素案について、パブリックコメントを実施	1月頃予定
	第4回境港長期構想検討委員会 (内容)長期構想策定及び港湾計画最終素案の提示	3月頃予定
令和2年度	港湾計画の改訂	下半期予定

検討フロー

現況分析

長期構想

港湾計画
素案

港湾及び背後地域の現況

上位・関連計画の動向

企業個別ヒアリング

目指すべき方向性

港湾利用者との
合同意見交換会

港湾への要請と課題

境港が今後担うべき役割

境港の長期構想における施策の展開方向
・果たすべき役割と将来像
・主要施策の展開方向

将来の空間利用計画

境港長期構想の策定

施設配置及び土地利用計画

境港港湾計画素案の策定

第1回委員会

第2回委員会

第3回委員会

第4回委員会

第3回委員会後
パブリックコメント
実施(R2. 1月頃)